



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1894回例会 2017年3月31日（金）

3RC合同親睦お花見例会（美濃・関・関中央） / 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録

第1893回 2017年3月16日（木）

C. A 会長エレクト研修セミナー報告

／担当 次期会長・次期幹事

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*会長あいさつ 石原妙生会長

寒い時期もだんだん和らぎ、早いもので明日は彼岸の入りです。彼岸は、ご存じの様に春と秋の二回あり、春分・秋分の日を「中日」とし前後三日間を言います。



彼岸はご先祖様や自然に感謝をささげる仏道精神の期間で、日本独自の仏教行事です。皆さんもお寺やお墓にお参りされることと思います。

古くは聖徳太子の頃から始まったとも言われ、農耕文化の日本では古来より昼夜の時間が同じで、真東から太陽が昇るこの時節に自然の恵みに対する感謝をささげる風習があり、これらと仏教の教えが結びついたと考えられています。

彼岸とは「悟り、涅槃（ねはん）の境地」を意味し、語源はサンスクリット語「パーラミター（波羅蜜多）」の「到彼岸」から来ています。“涅槃”

とは：仏教の主要な概念の一つで「全ての煩惱の火が消滅した、安らぎの境地」のことをいい、仏の悟りの世界「彼岸」へ到達するために、「六波羅蜜」の修行をするための期間でもあります。「六波羅蜜」とは、布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧です。

1.布施（ふせ）ほどこす：人のために惜しみなく何か善いことをする。布施には有形（金品）、無形は「知識や教え」・「明るく優しい顔で接する」・「温かい言葉を掛ける」・「穏やかな心を与える」・「何かを手伝う」・「善い行いをほめる」・「場所の提供」等欲張らない心での行いです。

2.持戒（じかい）つつしむ：本分を忘れずルールを守った生き方で人間らしく生活する。

3.忍辱（にんにく）しのぶ：悲しいこと、辛いことがあっても落ち込まないで頑張ること。

4.精進（しょうじん）はげむ：最善を尽くし努力する事。良い結果を得てもおごらず、さらに向上心を持って継続する。

5.禅定（ぜんじょう）心身を静める：心を落ち着けて動揺しないこと。心を平静に保ち雰囲気流されないこと。

6.智慧（ちえ）学ぶ：真理を見極め真実の認識力を得ること。智慧の心を持つ

大変良い事が書かれています。明日から彼岸ですので、これらのことを少し考えてみるのも良いかもしれません。

*C. A 会長エレクト研修セミナー報告 波多野好文会長エレクト

3月11～12日に三重県伊賀市で行われた会長エレクト研修セミナーに参加してきました。これに参加しないと次年度の会長はできないということで、77名すべての会長エレクトが参加しました。



1日目は、説明と挨拶がありました。会長エレクト研修セミナーが2日間になったのは3～4年前で、今回は劔田ガバナーをはじめ約140名の参加者でした。

開会宣言、点鐘、国歌、ロータリーソング、特別出席者、次期ガバナー補佐、地区委員の紹介と進み、劔田ガバナーの挨拶があり、その中でPETSというのは「P」がプレジデント、「E」がエレクト、「T」がトレーニング、「S」はセミナーということで、苗床に種を植え付けるセミナーで、会長がクラブを導くためのセミナーということだそうです。その後、田山ガバナーエレクトの挨拶があり、国際協議会がアメリカのサンディエゴで行われ、一週間ガバナーエレクト研修を受けてきたということです。

ガバナーというのは世界で539名いるそうです。その中で女性は103名で、日本では来年度は青森県で1名の女性ガバナーの方がいるそうです。日本からは34名のガバナーエレクトが国際協議会に参加されました。

来年度はイアン・ライズリーRI会長で、テーマは「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」(ロータリー: 変化をもたらす)です。数年前に知り合った人から、シンプルに「ロータリーとは何ですか?」と質問され、どうやって答えたらよいか分からなかったということで、このテーマにされたそうです。地域社会、クラブ、人の人生に変化をもたらすロータリーということ

で、ロゴマークは、色々な色があり、大陸、肌の色などを表しているそうです。

来年度の第2630地区ガバナーは田山雅敏ガバナーです。

テーマ 『未来を創造しよう』

・・・10年後のロータリーは・・・

<地区目標>

1. 変化するロータリーを考える
(クラブの刷新性と柔軟性を育てる)
2. RI会長賞へ多くのクラブの挑戦
(挑戦はクラブの強化につながる)
3. 財団年次寄附を確実に増やす
(前年度対比5%増)
4. 会員純増3%を目指す
5. グローバル補助金にトライする

<クラブの目標: RI会長賞に挑戦しよう!>

1. 会員増強によるクラブの更なる活性化
2. 地域への貢献の在り方
3. 財団への寄附(会員の意識向上)
4. 10年後のクラブは?(クラブ運営を考える)
5. 公共イメージと認知度を上げる

1日目は1時間ほどで終わり、懇親会がありました。2日目は劔田ガバナーの挨拶があり、3つの分科会に分かれましたが、全部の分科会に参加しなければいけないということで参加しました。

財団部門では補助金を使用しようということで、地区補助金は1月の締め切りを迎え、今年は申請が多く、これから審査されるそうですが、全てのプログラムに補助金をおろしたいそうです。グローバル補助金は、まだ途中からでも使用可能ですので、これを使用して事業をやってほしいということでした。

ポリオの話ですが、ポリオプラスというのはポリオともう一つの伝染病がプラスされたということでポリオプラスということになったそうです。ポリオは口から口へ感染し、発展途上国のトイレがないところで、飲み水を介して感染します。ロータリーが根絶に向かって頑張っているのですが、

ポリオの根絶は実態が把握できない地域もあり、難しいそうです。

2 つめの分科会では情報部門の分科会に参加しました。ここでは会員の増強などがですが、ロータリークラブの広報をすることが会員の増強につながるため、地元の新聞などで広報活動を積極的にしてほしいということでした。その中で職業奉仕というのはよく分からないという意見が出ました。服部パストガバナーの書かれた職業奉仕とは何かということが書いてある本を読みましたが、とても難しかったです。

最後の分科会では奉仕プロジェクト部門に参加し、説明を受けました。青少年交換は受け入れがないので迎えられないということが多いそうです。当クラブはインターアクトに力を入れています。インターアクトは高校生ですが、ローターアクトはインターアクトを卒業した 30 才までの方が対象です。新たにローターアクトクラブが 2 つできるようです。ローターアクトの対象年齢をあげられないかという話も出ましたが、それはできないということで、30 才を超えたら、ロータリーアンになって頂くということだそうです。

最後に 2 名の方が感想、意見を述べられ、修了証書を頂きました。

来週は次期委員長会議、4 月 16 日は地区研修・協議会があります。また、次年度は I M もありますので、皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

伊佐地金嗣次期ガバナー補佐

次期ガバナー補佐ということで会長エレクト研修セミナーに参加してきました。内容は波多野会長エレクトが話された通りであります。次期ガバナー補佐予定者として、もう既に 4 回ほど同じような研修に出席しております。会長はクラブの代表者ですので、その指導力が問われるのではないかと思います。波多野好文会長エレクトには、ぜひ我がクラブを引っ張って頂きたいと思っております。



*出席委員会

会員数 32 名、本日の出席 17 名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

波多野会長エレクト！エレクト研修の報告、よろしくをお願いします。

・小川糧司君

次期会長幹事さんご苦労さんです。

17 名のご投函ありがとうございました。

*その他の委員会報告

・西田健一ロータリー財団委員長

皆さんから一人当たり 180 \$ の寄附を頂き、14 日にロータリー財団に送金致しました。誠にありがとうございました。

*メイクアップ報告

3/11~12 会長エレクト研修セミナー

伊佐地金嗣君、波多野好文君

<次例会の案内>

第 1895 回 2017 年 4 月 13 日 (木)

卓話 あいおいニッセイ同和損保(株)

関支社長 石森 肇様

テーマ「これからの損害保険について」

担当：会計